**職 務 経 歴 書**

20◯◯年◯◯月◯◯日現在

氏名　○○ ○○

**■職務経歴概要**

専門学校後、◯◯株式会社へ入社。電気設備工事士として勤務。主にオフィスビル、マンション工事を中心に電気設備工事を担当。入社2年目からはスタッフ管理、スケジュール管理など管理業も担当。クライアントへの作業工程の説明など、折衝対応や報告書作成業務にも従事。20◯◯年◯月には第一種電気工事士を取得。

**年収を上げる職務経歴概要作成のポイント：難易度の高い資格取得は概要に記載する**

職務経歴概要は一読しただけで、これまでの経験が分かるようにまとめることがポイントです。何度も読み直して、余分な文章をそぎ落とした内容にしましょう。

また電気工事士など専門的な技術職は資格の有無が書類選考にも大きく影響します。第一種電気工事士など比較的難易度が高い資格を取得している場合、概要に記載すると印象に残りやすくなります。

**20◯◯年◯◯月　○○株式会社入社　　　（在職期間：　◯年◯◯ヶ月）**

　事業内容：ビル管理、メンテナンス事業

　従業員：◯◯名　　売上：◯◯◯◯円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **勤務期間** | **業務内容** | **職場環境** | **役割** |
| 20◯◯年◯◯月　～　20◯◯年◯◯月 | 電気設備工事士・オフィスビル、マンションなどの電気設備工事・屋内外配線工事業務・設備点検、メンテナンス業務・施工前の現地調査、作図 | 電気工事課メンバー8名 | 電気設備工事士 |
| 20◯◯年◯◯月　～　20◯◯年◯◯月 | 主任/電気設備工事士・スタッフ管理、スケジュール管理・電気工事に関する各種申請業務・クライアントへの作業工程説明、折衝業務・報告書作成、会議資料作成【実績】上記業務の他、電気工事に関する勉強会を月に1回ペースで実施。電気工事課全体のレベルアップと後輩の育成に貢献。業務品質の向上がクライアントからの継続受注につながった。 | 電気工事課メンバー8名 | 電気設備工事士（主任） |

**年収を上げる職務経歴作成のポイント：業務内容だけでなく実績も記載する**

電気工事士など技術職の職務経歴は、業務内容を分かりやすくまとめることが基本です。しかしそれだけに限らず実績も記載することで、より印象に残りやすい職務経歴とすることができます。

日々の電気工事業務での工夫、勉強会の開催など、自分で考えて行動し結果につながったことがあれば、実績として書いておきましょう。

■**これまでの経験・技術・知識**

・電気設備工事

・電気工事に関する各種申請業務

・Word、Excel、PowerPoint

・業務における自動車運転

・勉強会のファシリテーション

**■取得資格**

20◯◯年◯◯月　　普通自動車免許

20◯◯年◯◯月　　第二種電気工事士

20◯◯年◯◯月　　第一種電気工事士

**■自己PR**

私の強みは、7年間の勤務経験で身につけた電気工事の技術です。この7年間でマンションやオフィスビルに限らず、公共施設や産業機械は設置する工場など、様々な現場で電気設備工事や屋内外配線工事に携わりました。

また第一種電気工事士も取得したことで、知識クライアントや社内からの信頼を獲得することができました。

そして品質とスピードを意識して業務に取り組んできたことで、電気工事士として、年齢に合わせた適切な経験を積むことができたと自負しております。

今後はこれまでの実務経験を活かしながら、チームを引っ張っていけるような役職を目指して御社に貢献させていただきたい所存です。よろしくお願いいたします。

**年収を上げる自己PR作成のポイント：何かを伝えたらその理由も提示しよう**

電気工事士など技術職の自己PRは論理的であることが重要なポイントとなります。例文では電気工事の技術に強みがあると結論を最初に書き、その後に理由を伝えています。このように何かを主張して、その後に理由を説明することを、セットにして自己PRの内容は書いていきましょう。

また自己PRは量を書き過ぎると逆に、印象が薄くなるリスクがあります。PRしたい経験やスキルがいくつかある場合も、2～3つ以内にポイントを絞って作成することもおすすめします。